

発行 社団法人  
所沢市シルバー人材センター

編集 広報部会

〒359-1143  
所沢市宮本町1-1-2

電話 04-2928-8695

FAX 04-2924-0630

ホームページアドレス

<http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

# ところざわ

## 就業の基準に関する要綱が決定

分かち合い、公平に、楽しく就業するために

約1年検討された「就業の基準に関する要綱」が理事会で承認され、10月から施行されます。

平成16年度定期総会議案書にもその内容が掲載されますが、2〜3頁に骨子と主な基準を質疑応答のかたちでご説明します。



押し花絵「花嫁」吾妻地区 青木智恵子さん作  
手作り作品コーナーで同種葉書・葉などを販売中。



当シルバー人材センターには以前より「就業規約」があり、その中で「センターは、相互共助団体であって、会員はお互いの経験、能力及び人格を尊重し、協力し合って会員自身の創意性を発揮しながら、働く機会を広げ、その健康と福祉を増進するとともに、センターの発展に寄与するものとする」と、会員としての努力義務が定められています。また、就業時間、就業上の注意事項、安全・衛生、傷害補償などについても定められています。

今回制定された「就業の基準に関する要綱」(以下要綱という)は、この就業規約に基づいて会員の方々に、適正かつ公平な就業機会を提供するために作られたものです。

そのため、より細かく「就業期限」「就業日数」「就業時間」などの基準が設けられています。

# 就業の基準に関するQ&A



Q1 どうして要綱がつくられたのですか？

ここに、要綱第1条を抜粋します。

### 基準の目的

A1 昭和53年10月高齢者事業団として設立以来、約四半世紀にわたり、地域により密着し貢献する事業を積極的に推進し、地域社会の活性化と発展に寄与してきましたが、数先には、いわゆる団塊の世代が60才に達するなど、高齢社会を迎えており、ホワイトカラー職種やボランティア活動への就労希望が増大するなど、就労ニーズが多様化することが見込まれ、センターはその役割を果たしていかねばならぬ。

第1条 この要綱は、社団法人所沢市シルバー人材センター就業規約に基づき、会員に適正かつ公平な就業機会を提供するため、就業期限、就業日数、就業時間その他就業に関する基準を定めることを目的とする。

※「就業規約」は、各年度の定期総会議案書巻末に掲載されています。

Q2 対象になるのはどんな会員ですか？

A2 この基準は全会員に適用されます。

### 基準の主な内容

●就業は1人1職種が原則

●就業年齢は75歳、但し、自動車運転業務は70歳

この年齢を超える会員は就業適正委員会が健康及び業務状況を考慮して、安全就業の適否について確認・相談を行います。

●就業期限は最長5年

(原則1年で更新を繰り返すことの出来る期間)



●1日の就業時間は8時間以内  
●就業日は月13日以内

但し、1日実働4時間以内の場合は週5日以内、月別又は季節的に変動のある職種については年間160日を超えない範囲内において、13日を超えることができます。

Q3 基準に該当した場合はどうなりますか？

A3 この要綱は10月1日から施行されますが、該当する会員については経過措置を適用します。

### 経過措置

(平成16年10月1現在)

- 就業年数と就業期限
- 9年以上就業 平成17年9月末日
- 7年以上9年未満就業 平成18年3月末日
- 5年以上7年未満就業 平成18年9月末日
- 3年以上就業5年未満 平成19年3月末日

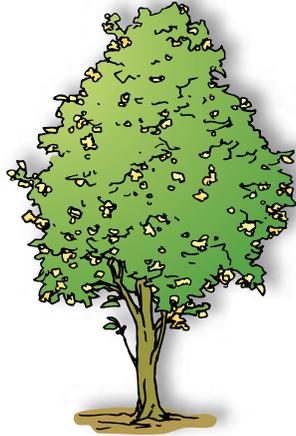
この多様就労型のニーズに応えるための受け入れ体制を早急に整えていかなければなりません。就業機会の確保・拡大が現在の経済情勢から困難になって参りました。

(事業部会長 田中文雄)

**Q4 就業終了後、すぐ就業出来ないのですか？**

**A4** 同じ職種でなければ就業できません。なお、一年以上経過した場合は同職種での再就業もできません。

センターでは、ワークシェアリング及びローテーション就業を積極的に推進して、より一層就業機会の公平を図って行きます。



**Q5 例外はないのですか？**

**また、適正な運用を図るための手立てはありますか？**

**A5** 要綱の適切妥当な運用のため就業適正委員会が設置され、就業基準運用上の諸問題や特別の事情について対応します。就業適正委員会については第9条で定められていますので抜粋します。

**就業適正委員会の設置**

第9条 委員の就業上の次の事項を審議するため就業適正委員会を置く。

- (1) 就業期間満了等の通知
- (2) 就業期限の確認
- (3) ローターション就業の積極的推進
- (4) 就業年齢制限を超えた会員への安全就業の確認・相談
- (5) 不適正就業に対する対応、改善指導、勧告

**福祉・家事援助サービス事業**

**講習会・日帰り研修人気上々**

家事援助サービス事業では、3月9～11日にセンター主催の介護に関する講習会と研修会を行いました。募集初日から応募が殺到し、関心の高さが窺えました。



旧庁舎3階で行った介護講習会は、初日に介護用ベッドを使いベッドメーカー、体位交換、衣類の着脱等介

**Q6 詳しい説明はどの程度聞けますか？**



**A6** 詳しくは、地区懇談会（毎年各地区で開催していますが、今年は時期を早めて開催予定）等の中で説明されます。なお、平成16年度定期総会においても報告されます。

護の基礎知識を中心に実技を交えて学習。2日目の午前は車椅子の基本的な操作・乗降・移動を学んだ後、庁舎周辺の坂道や階段・芝生の中を移動する実技実習を行いました。午後は、インストラクターと共に体の各部位に器具を装着し、仮想シニアの世界を体験しました。

翌11日は、池袋で開催中の「シルバーサービス展」を見学。会場はシニアライフをより豊かにするための趣味・生活、特に介護に関する商品や情報が紹介されていました。

初体験にもかかわらず参加者が積極的に知識を習得される姿が印象的でした。

今回は、沢山のご応募有難うございました。今後皆さんが意欲をもてる仕事を開拓していける様がんばりたいと思います。

（コーディネーター 今和泉記）

おじゃまします

# 職場訪問記

## (27)

今、リフォームがブームになっている。ちょっとした工夫だけで室内の雰囲気ガラリと変えることができ、快適なリラックス空間をもたらしてくれる。

シルバー人材センターには、技能職の大工仕事があるが、大工の技術を持つ会員は少ない。然し、注文は徐々に増えてきているようだ。

市内の公団住宅に住むYさんからリフォームの依頼があり、会員の宗像善次郎さんが、この仕事を引き受けることになった。

リフォームするのは無味乾燥になりがちなお手洗いの空間、幅1m奥行20cmの利用。狭い場所を有効に使うために機能性を重視した収納棚の設計。とくに、賃貸住宅のため壁面の損傷はできないので組み立ての収納棚が最適ではと考えて寸法取りを行った。

作業場で製作して完成した棚をYさん宅に取り付けるといふことで、2月中旬筆者も同伴させてもらい作業しているところを取材させて



もらった。

現場での組み立て作業が手際よく進み、立派な収納棚が完成。

依頼したYさんは出来上がりについて「材料も吟味されていて、棚は可動式に作られ、収納が自由に換えられるようになり、機能性もデザインも注文通りの出来映え」と満足そうだった。

宗像さんは「寸法どおりの製品が出来上がったか、『桶屋に丸なし大工に角なし』<sup>(注)</sup>の言葉があるように、現場に取り付けるまでは上手く納まるか不安でもあり、上手く取り付けられるとホッとしますね」と笑顔で語った。

今回、取材した宗像善次郎さんは昭和8年生まれの70歳。建設会社を定年退職後、大工の技術を活かせればとシルバー人材センターに入会。注文依頼があれば、現場の下見・

材料選び・見積り・作業を一人で行う。大変ではあるが、お客様からいい物が出来たと言われると、やり甲斐を感じる。また、プライドは捨てて相手の気持ちになって仕事をするのが大事だとも話していた。

訪問取材させて頂いたYさんには、貴重な時間を割いて頂き有難うございました。また、宗像さんの長年蓄えた技術や経験を活かし、今後も益々活躍されることをお祈りします。(岩崎記)

(注)どんなに精巧に作っても、微妙に歪みや狂いがあるという喩え。

### 越谷市SCより来訪

……書道教室について……



去る2月12日越谷市シルバー人材センターより、齋藤徳治副理事長ほか2名が来訪、当センターが独自事業と

して取り組む各種教室、特に書道教室(実務書道・芸術書道)の経営・指導技術等ノウハウについて話し合いが行われた。

書道教室の兼松先生(副理事長)・菊地先生・山川次長等が諸資料を整え待つうちお客様が入ってこられ、賑やかに双方握手・挨拶を交わす。兼松先生は齋藤副理事長とは書道を通じて旧知の間柄とか。

ひとつわたりの挨拶が済み、山川次長の進行でお互いの実状を披露。SCが看板に「筆耕受注」を掲げて



リフォーム後



リフォーム前

いるてまえ、表札から墓石文までのあらゆる注文に即応できる人材確保や技能者の育成が必要なこと、また墨書品質を商品とするので、技術の規格・標準化の可能性等に話が及ぶ。更に技能格差のある生徒を抱え

# フリースペース

## 健康に気をつけて

中央地区 廣田 久隆

私もあと半年程で、80歳の大台に到達することになる。思えば長い長い道のりのようでもあり、また、あつけない年月であったようにも感ずる。

人、それぞれの「道のり」を歩いて来たわけだが、それなりに楽しい思い出、悲しい思い出など様々な歩みを経て生きていると思う。

歳の割には、ほんの少しの軍隊生活(海軍)を経験した。兵役中には米軍の艦砲射撃を受けた(何十人も死者を出す)経験もある。また、米空軍の爆撃に見舞われて、一晩中水に浸かって過ごしたこともあつ

る教室の指導方法・筆耕の受注先開拓や経営実績等々：話が弾んでいた。

予定時間いっぱいを過ごした一行は、尽きぬ話を今後の情報交換に託して所沢を後にされた。(粕谷記)

た。そんな中で、よくもまあ今日まで生き延びて来られたものだと思り返すことがしばしばある。

私の年代の男性は大体の人が軍隊に召集されて、その中で多くの若い尊い生命を失っている。

戦後の平和な時代を迎えて、もうすぐ60年に手が届くところに来ていく。

今、世界のあちこちで「戦火」が繰り返され、ややもすると「平和のありがたさ」を忘れかけているのではないかと、心を痛めている。

80年近い「あゆみ」の中で、終点が近くなった今日この頃だが、お陰様で健康で生きていられることに感謝している。だが、もう少し何か出来る



来ることがないだろうかという思いで、「歩く」ことを心掛け、好きなアルコールも週2

## 健康一口メモ

保健師 和田喜美子

### 「あなたの膝は大丈夫？」

膝が痛いと言う人の多くは「変形性膝関節症」です。膝関節は「大腿骨と脛骨(すねの骨)」をつなぐ関節です。この骨に接触する面を覆っているのが軟骨です。軟骨は接触面の摩擦を減らし関節の動きをスムーズにする働きをしています。

また、大腿骨と脛骨との間には「半月板」があり膝関節にかかる衝撃を抑えるクッションの役割を果たしています。膝関節は「関節包」という袋で包まれその中は関節の動きを滑らかにする液体で満たされています。軟骨や半月板は加齢と共にすりへって関節包に炎

日の休肝日を守りながら(たまには違反もあるが・)、仲間と一緒にウォーキングを続けている。

現在は、シルバー人材センターで

「フリースペース」欄への投稿を

お待ちしております。



症が起き痛みが起きるのです。

初期の症状としては膝がこわばる感じで少し痛む程度です。大腿四頭筋を強化する事で関節が安定し湿布や注射で痛みが軽くなります。

筋力アップのためには出来るだけ歩く様にします。自転車こぎ、水中歩行等も良いと言われています。手軽に出来る方法として椅子に深く座り、足を前に出し20〜30秒キープし、これを1日3回行います。慣れたら1kg位のおもりをつけると効果的です。いずれも継続する事が大切ですが担当医と相談のうえ行ってください。

澤口理事をはじめお仲間数人とレタリング(手書き文字看板)活動を続けられることに楽しさと張り合いを感じている。

### 婦人部日帰り旅行

## 吉川英治記念館を見学

婦人部の日帰り旅行が2月20日実施されました。女性会員の参加者は19名とやや少な目でしたが、秋山理事長と上田専務理事も加わって頂き、楽しく有意義な1日を過ごしました。まず、青梅市にある吉川英治記念館を見学。

吉川英治氏は「鳴門秘帖」「宮本武蔵」「太閤記」「新平家物語」「私本太平記」「新水滸伝」など長編80編、短編180編と膨大な小説を書いて「国民文学作家」としてあらゆる世代の人に愛された方。

昭和19年、当時の旧吉野村（現青梅市）に疎開、爾後昭和28年まで在住しました。暫し晴耕雨読の時期を過ごしたあと、この地で「高山右近」を書いたり「新・平家物語」の執筆を始めたらしいといえます。当時のまま管理されているという「その人」の書斎、著書、遺墨、遺稿を目のあたりにし、英治の偉業や謙虚な人柄を偲びました。記念館でゆっくり心を磨いた



吉川英治記念館

あとは日の出町のつるつる温泉に向かい、今度は体を磨きました。梅の盛りには早かったようですが、車窓に見た穏やかな日差しに

映える満開の「しだれ梅」に満足し、心身共にリフレッシュした早春の旅でした。  
(島記)



### 今年もクリーン作戦を展開!

当センターPRの一環である清掃活動が3月25日（木）実施された。航空公園駅前に会員80名が集い、秋山理事長挨拶の後、午前10時から2班に分かれて市役所通りから航空公園前までの歩道・植え込み等を中心に展開され、見違える程の成果があった。

初参加した会員の一人は「市民の一人として美化運動の手助けができ、就業率の向上に多少貢献できたことは良かった。このような機会が多くあることを期待したいですね」と話していた。  
(岩崎記)



### 薄学駄話 芋煮

新所沢地区の懇談会では、毎年メイン料理に山形風芋煮を食べており皆に好評だ。

休日になると、東北地方の河原や公園では、鍋を囲む人々で賑わう。山形市では、毎年6mもある「巨大なべ」を使った芋煮が行われる。今や全国的に知られる野外料理となったが、手軽な煮物や汁物として家庭でも味わうことができる。具はサトイモとコンニャク、牛バラ肉が基本。これにゴボウやネギ、キノコなどを入れ、醤油と砂糖で甘辛く味付する。

野外で芋煮を楽しむ習慣は、江戸時代まで遡るといえる。肉食が普及する明治以前は、棒ダラ（干しダラの種類）を使っていたらしい。大正時代に学生が河原で芋煮をするようになってから、一般に広まったようだ。

山形県ではサトイモと牛肉に醤油味が基本だが、宮城県では味噌味が一般的である。岩手県では醤油と味噌で味付けして芋煮でなく、「いものこ汁」と呼ぶ。盛岡市の郷土料理研究家・梅津末子さんによると、具はサトイモのほかゴボウ、人参、大根、シメジ、コンニャク、豆腐、ネギ、肉（主に豚肉）、県南地方では鶏肉を使うこともあるそうだ。（山口記）

# シニアワークショッププログラム 接遇講習

3月5日、所沢市シルバー人材センターは、日本能率協会講師の大槻輝征氏（市内在住）を招き、庁舎内で「シニアワークショッププログラムの接遇研修会」を開いた。

まず上田事務局長が挨拶に立ち、厳しい雇用難の折からこの研修が就業先で活かせるよう、「接遇」の大切さを解って欲しいと話された。

講師は年令・社会経験も豊富な先輩を前に話すのは心苦しいがと前置きして、就業・再出発の心構えを、

① 就業先はもと勤めていた会社と異なり作業手順、企業文化も全く違い、おそらく社長も従業員も皆さんより若い。然し、皆さんの経験をあてにしているでしょう。

② 会社勤務時代の技能経験を活かしても役職を持ち出すことは絶対ない。多少の社会経験をもった「新入社員」であると自覚し、その職場に溶け込み、謙虚で柔らかな話し方に、就業先の人たちが共感を生むような人を目指して欲しい。皆さんの評価がシルバー会員全体につながることを念頭に努力をして下さ

い。

大要このような内容を話された。これは、入会時の説明を想起させるものであった。

\* \* \* \* \*

後半の研修は5班に分かれた受講者が、グループごとにテーマを選び討議。結果を模造紙に書いて発表するというもの。受講生の大半はひと昔前の企業戦士ばかり、会社時代の経験で賑やかにそして手際よく纏め上げていた。

（粕谷記）



# 武蔵野散歩

啓蟄を過ぎ寒緋桜が咲き始めた時期とはいえ、3月中旬の風はまだ冷たい。

西武新宿線・花小金井駅前のロータリーを左折し、線路に沿って田無方向にしばらく行くと「多摩湖自転車道」の標識がある。狭山湖から境浄水場を結ぶ平坦な直線の小道で、染井吉野が咲く頃は大勢の人が訪れるそうだ。3月は時期的に花の種類は少ないが、それでも椿やコブシが咲き誇り、行き交う人々の目を楽しませてくれる。道の所々に休憩所や無人の野菜販売所があり、なかなか風情のある所だ。

石神井川を渡り「馬の背」と呼ばれている土手の先に「歩行者道全体案内図」と表示されている大きな看板がある。そこを右折すると間もなく小金井公園の一角に入る。都立公園としては最大の規模で、約77ヘクタールもあり昔から桜の名所として知られている。この春、開園50年を迎えたそうだ。

園内には山桜を筆頭に染井吉

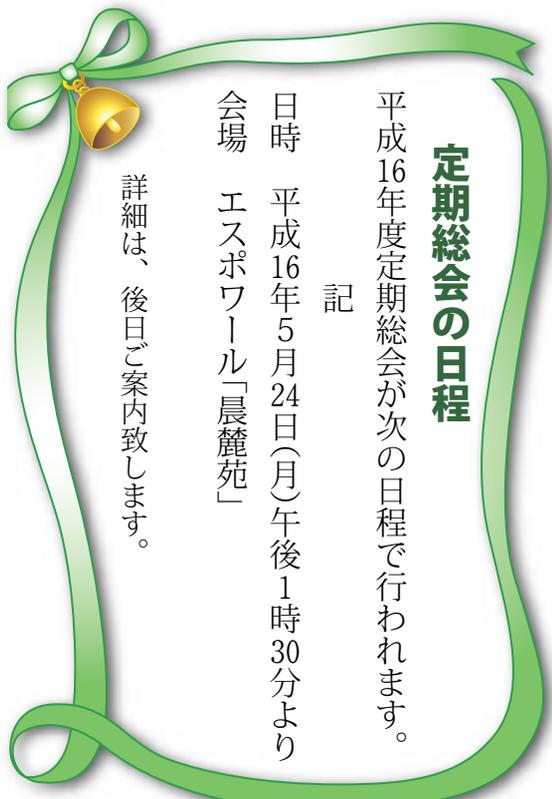
野、霞桜、深山桜など52種類約千八百本の桜が点在し、雪柳、連翹、ハナモモなど四季を彩る美しい樹木や草花が訪れる人の心を和ませてくれる。

野鳥の声を聞きながら小道を進むと「江戸東京たても園」の前に出た。このたても園は、東京都が文化的価値の高い建造物を後世に継承するため平成5年に建設したもので、江戸時代の農家、明治・大正時代の家屋や商店などが保存されている。観覧料200円（65才以上）たても園を見学した後、小金井橋から玉川上水沿いの緑道に入った。

途中、天明3年（1783年）に建立された古刹・海岸禅寺（写真）に立寄り、更に昔人の豊かな心が宿る古の道を上流へと遡った。目的地の一橋学園駅に着いた時、万歩計を見たら一八、六〇〇歩になっていた。



（加藤記）



**定期総会の日程**

平成16年度定期総会が次の日程で行われます。

日時 平成16年5月24日(月)午後1時30分より

会場 エスポワール「晨麓苑」

記

詳細は、後日ご案内致します。

**《シルバー豆宣伝》**

**シルバー人材センターをピーアール!!**

(社)所沢市シルバー人材センターの会員理事が揃って、26日午後、所沢駅前街頭PRを行った。西口、東口と二手に分かれ、用意したリーフレットを街行く人々に配りながら「こんな時お役に立ちます」と話しかけた。

現在、シルバー人材センターは1,600名余の会員を擁し、6億円超の売り上げを誇っているが、もっと市民に知って貰い、働き口をひろげたいというのが理事達のねらい。

折からの強い風に黄色のたすきを煽られながら頑張り、予定の部数を配布した。



**履行確認書の書式移行完了**

履行確認書はA4サイズになりました。コピーした用紙では、提出が出来ませんのでご注意ください。

**お知らせ**

**●新職員紹介**

【業務係 二木洋祐さん】  
ふたつき



四月一日付で業務係に採用された二木洋祐と申します。一日でも早く皆様に顔と名前を覚えて頂き、楽しく明るく仕事ができればと思います。趣味はスポーツで、毎日自転車で季節の移り変わりを楽しみながら通勤しております。今後とも宜しく願い致します。

【独自事業 小寺勝久さん】

12月より斎藤功さんと二人で担当しています。

【臨時職員 小林多摩樹さん】

2月より入りました。

※業務係 伊藤記観恵さんは、育児休暇中です。

**●健康相談日**

- 4月30日(金) 午後
- 6月2日(水) 午後
- 7月1日(木) 午後

**あとがき**

◆4月には「新」という字がよく似合う。巷にはピカピカの1年生が誕生、新しいステージに上る。当方、新とはいえない歳になったが、せめて今与えられた場の初心者になる。春4月には時々こんな決意をする。  
(島)

◆木々から出るフィトンチッドという物質は、連鎖球菌などに対し破壊的な作用を及ぼす効果があり、そのため健康に良いそうだ。今年も出来るだけ森林浴を楽しみたいと思う。  
(加藤)

◆一進一退の気候もようやく和らぎ、辺りの草木は一齐に芽吹き、衣替えを始めました。広報部会の末席を汚して3年、その務め十分に果たすことなく申し訳なし。私には得るもの多き3年、感謝しています。  
(粕谷)

◆毎年ながら、春の到来は「さくら」に代表される。桜は300種類以上に及ぶとか。日本列島を南から北へと縦断して開花する様は、今のご時世の中にあって人々の心を和ませてくれる一つではないだろうか。  
(岩崎)